

災害への備え学ぶ



想定外の災害への対応について語る片田敏孝さん＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

東信経済
倶楽部 多治見市で講演会

東濃信用金庫の取引先でつくる東信経済倶楽部の講演会が19日、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールであった。中津川市出身の片田敏孝さんは内閣府中

央防災会議などを通し防災行政を推進。講演では近年、地震のほか火山噴火も多発していることや、豪雨などの気象災害も厳しいレベルに達していることを指摘した。

さらに東濃西部地域について「地盤が粘土質でそれほど地震が起きるところではないとの声もあるが、周辺には活断層があり、そうした認識は捨ててほしい」とし、内陸型の濃尾地震の例を挙げた。

震災前に自身が関わった岩手県釜石市での防災教育を紹介。想定外の災害に対しては、自然の営みに畏敬の念を持ち、自分の身を守るのに主体的になることの必要性を強調した。

片田さんはさらに避難三原則として▽想定にとらわれるな▽最善を尽くせ▽率先避難者たれ―を挙げ、「本当の敵は災害でなく災害に向かい合えない己」とした。(松尾法尋)